

委員会のつづき

常任委員会報告

どうなる幼稚園誘致

私学審議会の回答待ち

総務文教常任委員会

①給食センターの統廃合は

●町の考え方 ①甲山

給食センターは世羅給食センターに統合。

②せらにし給食センターはそのままとする。

(西大田、津久志が加わる)

なお一部厨房の更新で電気設備や設計業務の執行など、統合に伴い新たに発生するものに対処している。委員会はより安心・安全の給食が確保されるよう要請。

②公民館の統廃合は

●町の考え方 13の公

民館は全て自治センターに移行(且20年)新たに公民館機能を持つ施設を3ヶ所設置。

委員会としては、公民館は生涯学習を行う施設であり十分住民と

コンセンサスをとることを要請。

③図書館の統廃合は

●町の考え方 図書館の統合は位置の決定を急いでいる。

委員会は、住民にとって利用し易い親しみやすい図書館を住民と共に考えて作りあげてゆくことを要望。

④幼稚園誘致は

●町の考え方 認可に時間を要している。仮に認可されても国、県、町民など補助金を含めて交渉に期間的にもたやすい問題ではない。委員会は、最適最良の方策を取られるよう要望。



きちんとみちすじつけるは大人の役目

地域で守れるか高齢者福祉

厚生常任委員会

●現地調査

社会福祉協議会
地区社協の実態

○現在、社会福祉協議会においては、地域福祉活動の一層の充実を図る目的で、13地区に会員制の地区社協を立ち上げるため、昨年と同様、町民との懇談会を開催している。なかなか町民の理解が得られず合議と成らないようだ。少ない職員の中で手分けをして小地域へも出向き説明をしているが社協として宣伝不足の面もあることを認めている。

行政の進める住民自治との関連を持たせ高齢者を地域で守って行く組織の立ち上げを要望したところである。○社協が行っている、

共同募金の配分は平等配分でなく、その地域・団体の意気込みにかかるので実態活動を精査しながら配分基準に基づいて、地域配分審査委員で実態調査をしながら配分を決定している。

世羅中央病院

企業長が確保できない

○医師は6名だが、内科の先生が体調不良で実質5名体制である。医師不足の影響は医師への負担増となっているが職員も一丸となってカバーしている。経営上からも医師1名はどうしても必要。県立瀬戸田病院が民営化されると、医師着任が可能となるが、これからの動きを見守ってゆく

状況。

○財政状況は、今のところ1300万円位経常利益が出ているが、繰越損失があり実質年度末には、800万円位の黒字決算の予想である。また、看護師は、ぎりぎり必要な人数は配置している状況。退職もあるので奨学金制度を設けて対処しているが、いまのところ該当者は1名である。

産業建設常任委員会

ふるさとの道づくり事業スタート

本年度から「ふるさとの道づくり事業」がスタートする。住民自らの手で町道を整備する事業だが、

議会からの意見を受け、①町道以外に拡大して、住民協働による取り組みは可能か。②町道に限定せず、他の道も対象にしては。という2点について検討を重ねた結果、①道路以外に拡大した場合、自治振興助成金などを出していること。②年度途中で、統一しての実施は困難。ということから、町道以外に拡大して実施することは難しいという結論に達した。

町道以外に、林道、農道があるが、農林業振興補助金制度を復活させ対応したい。

●広島森づくり事業
森林税を利用して、次の3点を行う。

・せら夢公園前信号機から公園までの1・4キロ区間の両サイドを5年間で整備してゆく
・自然観察園の維持管理をするため、せら

夢公園サポーターズ
クラブに支援

・せら夢公園内に休息
所を設置

―特別委員会報告―

事業は初期の計画通り

区域は検討

公共下水道事業調査特別委員会

①下水道事業の見直しは

●町の考え方 町の生活排水処理基本計画に沿って、要綱を制定し検討してきた。特に家屋間距離が70mを超えていない場合を基本とする、今、計画する認可区域は、ほとんどあてはまる。また、建設費の比較をみると、公共下水と浄化槽では、耐用年数の大幅な違いから、下水道建設が有利とする。中止する場合、補助金返還も多額である。今の段階ではH21年4月の供用

開始にむけ行財政改革で示した数値目標を達成するため努力する。そのためには、加入者数の確保が必須と考える。

②加入促進の取り組み

●町の考え方 ①住宅改造補助金交付要綱、並びに融資斡旋制度（150万円まで）をつくり加入促進を図る。

②住民説明会を持ち、DVD上映、役割、工事概要など説明することとで理解を得てゆく。

●問題点 加入促進を

行財政改革特別委員会

住民不安解消できるか

◎消防団組織の再編は

●町の考え方 今、団が大会にむけて訓練中なので、大会が済み次第、地元理解の中、団と協議し再編してゆく。

◎役場庁舎前の広島県
尾三地域事務所世羅
分庁舎は

●町の考え方 利便性の向上からも町への移管を希望するものだが今までの経過から、8月から再度調整協議してゆき、方向性をみつける。

◎議員定数と報酬は

町民より議員定数などの要望書を受けているが、9月の定例議会の中で結論を見いだすこととして議員の一致をみている。

字化はみえない。

後年度への負担増は拡大される傾向にある。加入促進率がどこまで達成できるか見守ってゆく。

甲山 I・C 以北も工事着手

尾道・松江線探査調査特別委員会

甲山 I・C 以北の（建物土地共）買収は順調に進んでいるが、境界未確定部分が東上原地区にある。引きつづき協議を行う予定。また工事件数も来年3月末日を工期とする橋梁、トンネル工事が発注される見通しである。

